

株式会社 エバタケ

あきと
渡辺 敬仁さん を紹介します



作業機械の前で社長の渡辺敬仁さん

お住まい : 袖ヶ浦市

就農した年 : 2011年

栽培面積 : 15ha

栽培品目 : だいこん、裏作に夏野菜等

販売先 : JAきみつ、仲卸業者等

雇用状況 : 役員1名、正社員3名、パート等10名、外国人数名



就農したきっかけ

地元を離れ、東京のIT企業で数年勤務。いずれは家業の農業を継ぐ予定であったので、タイミングみて家業を継ぐ。就農した時期に法人化(株式会社エバタケ)して社長に就任。

農業で工夫していること

主な出荷形態は加工業務用であり、販売先と契約栽培を行うことで、あらかじめ収入が把握できるため営農計画が立てやすい。設備投資も計画的に実施できている。

農業で大変(重要)なこと

- ・昨年の11月の寒さで、だいこんの生育に影響が出た。近年の気候、温度変化に常に対応していくことが大変である。
- ・契約栽培で出荷しているため、提示された数量を切れ目なく出荷しなくてはならない。契約数をクリアするための調整や、気候変動への対策(収穫量の調整)が重要となってきている。

今後の目標

- ・出荷量の拡大目標に伴う経営の改善。
- ・農地(作付け)面積の拡大、作業機械及び加工工程ラインの増設。
- ・人材(雇用)の獲得。

主な農作物



加工用として洗浄されただいこん

労働環境の整備



作業場には大型扇風機、県の補助事業でトイレを増設

ほ場風景



収穫機で一気に収穫